

私立	兵庫医科大学	問合せ先 学務部入試課
		☎663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1
		☎(0798)45-6162 http://www.hyo-med.ac.jp/

教育目標&特色

昭和 47 年に開学。「社会の福祉への奉仕」「人間への深い愛」「人間への幅の広い科学的理解」という建学の精神を教育の理念として、社会的弱者である高齢者や障害者を救済する医師、自分の利益よりも常に患者の利益を優先する医師、卓越した知識と技能を持つ医師を養成してきた。附属病院は、西宮市に本院(兵庫医科大学病院)、篠山市に分院(ささやま医療センター)があり、本院は最先端医療を提供。開学 40 周年記念事業として急性医療総合センターが併設されている。また、ささやま医療センターは地域社会の信頼に応える病院として、質の高い医療を地域住民に提供している。

カリキュラムの特色

1 年次は教養・基礎医学修得期間で、高校教育と大学教育との橋渡しとしての授業を行い、基礎的な自然科学および語学修得、人文・社会的教養の醸成など幅広く学ぶ。また、チュートリアル教育を医学概論入門に導入し、自学自習能力と医師への動機づけを涵養。早期臨床体験実習も行う。2 年次は基礎医学学習期間で、医師として基本となる基礎医学から臨床医学へのつながりを学ぶ。生化学、生理学など少人数の実習を中心とした学問体系を学んだうえ、臨床入門により臨床教育に入る準備を行い、1 年次、2 年次の総まとめと復習に総合進級試験を行う。3 年次は臨床医学学習期間で、具体的な症例に取り組み、チーム医療を理解する。授業は統合カリキュラムで、臓器別、症状別に組み立てられ、知識の確実な修得を後押しする。臓器別カリキュラムでは解剖学、生理学、生化学、病理学、内科、外科という科目別の学習でなく、例えば肝臓について解剖、生理作用、そして代謝、病気の成り立ちや病態、内科的治療や外科的治療まで一貫して勉強する。また、兵庫医療大学との連携により、4 学部(医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部)合同教育でチーム医療の重要性を学び、在宅ケア(訪問看護)実習では、家族・地域社会での医療の実際を学ぶ。4 年次は引き続き統合カリキュラムで、授業は臓器別、症状別に組み立てられ、これまで蓄積した知識を整理。プレクリニカル教育により、基礎から臨床までの知識の整理を行うとともに、臨床実習の準備のための基本的な診療手技を身に付ける診療法を学び、総合進級試験、共用試験を受験する。5 年次には臨床実習が始まる。見学型だけでなく、内科・外科のコア診療科では、クリニカル・クラークシップによって診療チームの一員として患者に接し、医師として相応しい態度と技能、知識を身につける。6 年次は学外臨床実習で、大学病院を離れて第一線の病院に参加。学内選択臨床実習では自ら選んだ診療科でさらに高度な実習を行う。また Advanced OSCE(実技試験)では臨床推論を鍛え、医師としての診療技能を磨き、卒業試験に臨む。

大学 DATA

- ◆沿革 昭和 46 年に大学を設置した。
- ◆学部所在地 問合せ先に同じ。**アクセス**阪神電車武庫川駅下車、徒歩 5 分。
- ◆学部学科・定員 医学部=医学科 112 名
- ◆大学院 医学研究科=医科学専攻 40 名、先端医療学専攻 2 名
- ◆おもな附属施設 大学病院、ささやま医療センター、先端医学研究所、リハビリテーションセンター、ささやま老人保健施設など。
- ◆学寮 設置していない。

参考資料

●医師国家試験合格率

区分	全 体				新 卒				既 卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	107	103	92	89.3%	102	98	87	88.8%	5	5	5	100.0%
2016	105	105	100	95.2%	103	103	98	95.1%	2	2	2	100.0%
2015	116	106	103	97.2%	111	101	99	98.0%	5	5	4	80.0%

●学校納付金(2018 年度)

区 分	入学手続時	初年度総額	2 年次以降
入学金	2,000,000 円	2,000,000 円	-
授業料	1,100,000 円	2,200,000 円	2,200,000 円
実験実習費	500,000 円	1,000,000 円	1,000,000 円
施設設備費	650,000 円	1,300,000 円	1,300,000 円
教育充実費	1,000,000 円	2,000,000 円	1,200,000 円
諸会費	525,000 円	525,000 円	15,000 円
合 計	5,775,000 円	9,025,000 円	5,715,000 円
6 年間総計	37,600,000 円		

*入学後に任意の寄付金を募集する。

●特待生制度

一般入試の成績上位者 5 名に対して入学時の実験実習費(500,000 円)、施設設備費(650,000 円)、教育充実費(1,000,000 円)を免除する。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほかに、兵庫医科大学特定診療科医師養成奨学制度や、民間・地方公共団体の奨学金などがある。

2018 年度入試要項

募集人員

区分	一般	セ試前期	セ試後期	推薦	AO	編入学
医学科	約 82	約 10	約 3	約 17	-	-

* 一般には兵庫県推薦 5 名以内を含む。医師として 9 年間、兵庫県が指定する僻地の病院・診療所等に勤務できる者が対象。

* 推薦の内訳は公募制約 12 名、地域指定制 5 名以内。

試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般入試	1 次試験	12 月 4 日～1 月 15 日	1 月 24 日	2 月 1 日	
	2 次試験		2 月 3 日か 4 日	2 月 9 日	2 月 19 日
センター前期	センター試験	9 月 26 日～10 月 6 日	1 月 13 日・14 日	2 月 14 日	
	2 次試験	12 月 4 日～1 月 12 日	2 月 19 日	2 月 23 日	3 月 2 日
センター後期	センター試験	9 月 26 日～10 月 6 日	1 月 13 日・14 日	3 月 3 日	
	2 次試験	2 月 5 日～2 月 26 日	3 月 9 日	3 月 14 日	3 月 20 日
推薦入試		11 月 1 日～11 月 7 日	11 月 12 日	11 月 18 日	11 月 29 日
兵庫県推薦	エントリー	12 月 4 日～1 月 10 日			
	1 次試験	12 月 4 日～1 月 15 日	1 月 24 日	2 月 1 日	
	2 次試験		2 月 6 日	2 月 13 日	2 月 25 日・3 月 12 日

* 一般の 2 次試験はいずれか希望する 1 日。

* 兵庫県推薦はまず兵庫県に出願(エントリー)し、兵庫医科大学の一般 1 次試験を受験し、合格者が兵庫県による 2 次試験を受験する。入学手続きは両日とも本人が出頭して行う。

* 入学辞退者の学費返還申出期限は 3 月 31 日。

* 2 次試験合格発表時に補欠者を発表し、欠員が生じた場合は順次補欠合格者を発表する。

一般入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
1 次試験	数 学	数 I・数 II・数 III・数 A・数 B(列べ)。	150	90
	理 科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	各 100	120
	外国語	コ英 I・コ英 II・コ英 III・英表 I・英表 II。	150	90
	小論文			60
2 次試験	面 接	個人面接。	重視	約 10

センター利用入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間	
前期	センター試験	国 語	国(近代)。	100	80
		数 学	数 I・数 A、数 II・数 B の計 2。	各 100	各 60
		理 科	物、化、生→2。	各 100	各 60
		外国語	英(リスニングを含む)。	200	80
	2 次	面 接	個人面接。	重視	約 10
後期	センター試験	国 語	国。	100	80
		地歴・公民	世 B、日 B、地理 B、現社、倫、政経、倫政経→1。	100	60
		数 学	数 I・数 A、数 II・数 B の計 2。	各 100	各 60
		理 科	物、化、生→2。	各 100	各 60
		外国語	英(リスニングを含む)。	200	80
2 次	面 接	個人面接。	重視	約 10	

推薦入試

①**推薦条件**＝公募制は普通科(理数科等を含む)で全体の評定平均値が 4.0 以上の現役。地域指定は兵庫県内の高校か保護者が県内に居住しており、普通科(理数科等を含む)で全体の評定平均値が 4.0 以上の現役または 4.2 以上の 1 浪。②**選考方法**＝書類審査・基礎学力検査・小論文・面接(個人面接)によって選考する。<基礎学力検査> ◇数学＝数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(列べ)。◇理科＝物基・物、化基・化、生基・生から 2 科目選択。◇外国語＝コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ。

兵庫県推薦入試

①**推薦条件**＝卒業後、医師として兵庫県が指定する僻地の病院等において勤務することができる者で、一般入試の 1 次試験に合格した者。②**選考方法**＝一般入試の 1 次試験合格者に兵庫県が行う小論文・面接を課す。

* **合否判定** 一般は 1 次の合格者に 2 次を課す。小論文は 2 次試験の判定に使用する。センター利用はセンター試験の合格者に 2 次を課す。いずれも学科試験は総合点で判定する。面接は合否判定の資料として重視する。

* **試験場** 一般＝1 次は大阪(インテック大阪)・名古屋(ダイテックサカエ)・東京(五反田 TOC)・福岡(福岡国際会議場)、2 次は本学(阪神電車武庫川駅下車、徒歩 5 分)。センター利用＝2 次は本学。推薦＝本学。

* **受験料** 一般 60,000 円、センター利用 40,000 円、推薦 60,000 円

入試のポイント

来春の試験日は、一般 1 次が杏林大(一般・地域枠) 2 次のほか相手校の受験日によって国際医療福祉大 2 次と重複、2 次は 3 日に受験すると東京医科大 1 次のほか相手校の受験日によって昭和大Ⅰ期 2 次、帝京大 2 次、北里大(一般・地域枠) 2 次、東海大 1 次と重複、4 日に受験すると近畿大前期 2 次のほか相手校の受験日によって昭和大Ⅰ期 2 次、北里大(一般・地域枠) 2 次と重複。セ試利用前期 2 次は慶應義塾大 1 次と重複、セ試利用後期 2 次は日本医科大後期 2 次、愛知医科大地域枠 B 方式 2 次と重複する。

入試科目は、一般 1 次が数学・理科・英語の 3 教科＋小論文、2 次は面接。小論文は 1 次試験では使用せず、2 次試験の判定に使用する。数学・理科・英語の 3 教科とも教科書を中心に基礎を固め、参考書等で高度な応用力をつけておきたい。英語はマークシート方式による解答。センター利用のセンター試験は前期が 4 教科、後期が 5 教科。

2017 年度入試DATA

●入学者選抜実施状況

区分	募集人員	志願者	受験者	1次合格	2次受験	正規合格	補欠者	補欠合格	合格者	競争率	入学者
一般	79	1,973	1,802	420	*	80	*	86	166	10.7	79
セ試前期	15	678	675	288	*	38	*	2	40	16.9	15
セ試後期	3	42	41	28	*	3	*	3	6	6.8	3
推薦(公募)	10	73	73	-	-	-	-	-	10	7.3	10
推薦(地域)	5	32	32	-	-	-	-	-	5	6.4	5

* 補欠者は非公表。

【合格者の成績】

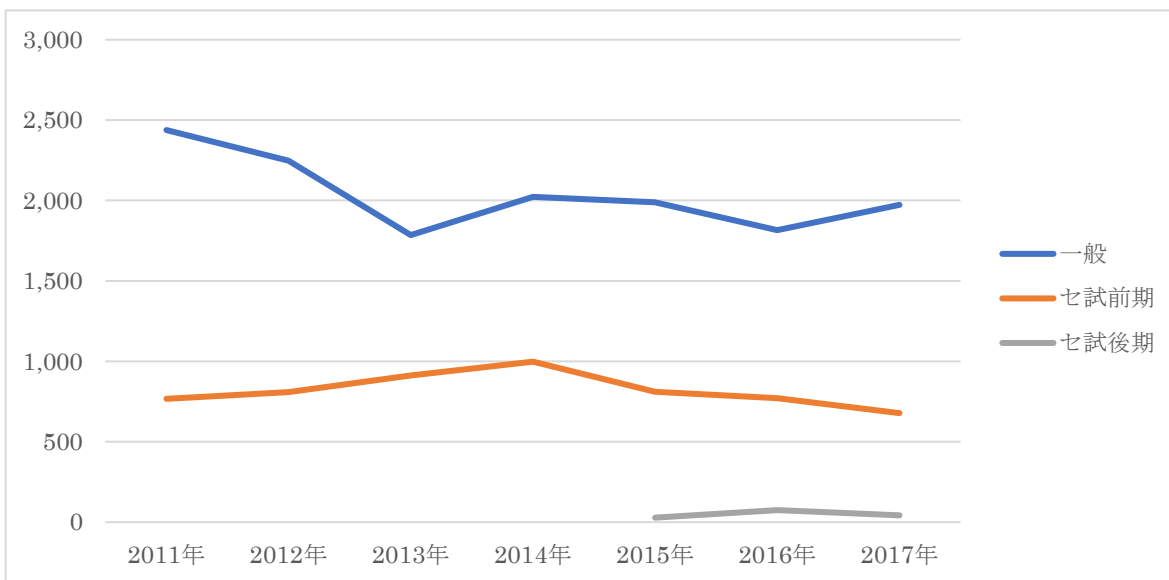
カッコ内は2016年度。

区分	配点	最高点	最低点
一般	550(550)	-	371.5(337.3)
セ試前期	700(700)	-	612.6(620.6)
セ試後期	900(900)	-	793.8(790.8)
推薦(公募)	450(450)	-	306.0(271.3)
推薦(地域)	450(450)	-	306.3(283.0)

* 入学者の現浪別内訳 現役 28 人、浪人 84 人。

* 入学者の男女別内訳 男子 76 人、女子 46 人。

【志願者数の推移】



●小論文の内容

一般入試2次・推薦入試で課す。一般は60分。今春は、一般が中室牧子著『学力の経済学』の抜粋が提示され、「図1でAをほめた群で3回目のテスト成績が低下した理由を、図2の結果を踏まえて100字以内で論じなさい」、「科学的根拠に基づいた教育について、あなたの考えを250字以内で述べなさい」など4問に論述。推薦は世阿弥編『花伝書』（川瀬一馬：現代語訳）の抜粋が提示され、「第二節のあらすじを100字以内にまとめなさい」、「第三節の下線部について、15歳になって秦の姓を与えられた理由を100字以内で述べなさい」、「第三節の神楽から申樂のことばが出来た所以を100字以内で述べなさい」など6問に論述させた。

●面接の内容

一般入試2次・センター利用入試2次・推薦入試で実施する。一般・センター利用は個人面接で、面接官3名、時間は10分。志望した理由、小論文について、併願校について、どういう医者になりたいか、などが聞かれることが多い。推薦はグループ面接と個人面接を行う。